

1. 令和4年7月19日の大雨

(1) 概要

- 日本海を東進する低気圧と前線に向かって流れ込む暖かく湿った空気により、大気の状態が非常に不安定となり、滋賀県では記録的な大雨となった。
- 19日の昼前から昼過ぎにかけて、1時間に大津市山中で79ミリ、五箇荘で74ミリ、野洲で70ミリを観測、近江八幡市付近では記録的短時間大雨情報(1時間に約90ミリ)が発表されるなど、各地で短時間集中豪雨が観測された。

(2) 県内の主な被害等

- 人的被害 死者1名
- 住家被害 床上浸水2棟、床下浸水31棟
- 非住家被害 全壊1棟(物置)
- 道路被害 道路冠水や土砂災害等による通行止め
- 農業被害 農地41.18haが冠水・浸水し、農作物や農業施設に被害

令和4年度 県内の主な災害発生状況について

2. 令和4年8月4日からの大雨

(1) 概要

○8月4日から5日かけて日本海の前線が近畿地方を南下し、この前線に向かって流れ込んだ暖かく湿った空気と寒気の影響で、滋賀県では大気の状態が不安定となり、湖北を中心に大雨となった。

○5日6時30分までの1時間に長浜市付近で約90ミリの猛烈な雨を解析し、記録的短時間大雨情報が発表された。

(2) 県内の主な被害等

○人的被害 なし

○住家被害 半壊2棟、床上浸水4棟、床下浸水20棟

○道路被害 土砂流出や高時川の溢水などにより、国道365号や中河内木之本線で通行止め

○河川被害 護岸や護床工の損傷

○農業被害 農地29haが冠水・浸水し、農作物や農業施設に被害

(3) 被災者生活再建支援

○今回の大雨により、長浜市において、一定程度以上の住家被害が生じたため、県は、被災住民に対して、支援金を交付する長浜市に対して、補助を行う(中規模半壊2世帯、床上浸水4世帯)。

令和4年度 県内の主な災害発生状況について

3. 令和5年1月24日からの大雪

(1) 概要

- 1月24日から25日にかけて、日本の上空約1,500mには氷点下12度以下の寒気が流れ込み、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。
- 25日にかけて、西日本から北陸地方を中心に大雪となり、大津市など普段雪の少ない地域でも積雪となった。
- 南西諸島から東日本を中心に広い範囲で強い風が吹き、長浜市唐国では24日の最大瞬間風速が20.2m/s、最大風速が10.3m/sとなり、1月の1位を更新した。
- 25日・26日の最低気温は南西諸島を除き全国的に氷点下となり、26日には東近江市桜川東で氷点下12.3度を観測し、日最低気温の低い方からの1位を観測した。

(2) 県内の主な被害等

- 人的被害 軽傷4名(除雪作業中の転倒など)
- 住家被害 なし
- 道路被害 なし
- 農業被害 パイプハウスなど71箇所全壊、半壊、一部破損が発生
- 交通状況
 - ・新名神高速道路で大雪の中、大規模な車両滞留が発生
 - ・JR琵琶湖線・京都線内で分岐器不転換(21箇所)による輸送障害が発生し、県内の駅構内に停車した列車や駅周辺で、多くの帰宅困難者が発生